

発信年月日：平成27年3月5日

| | | | | |
|--------------------------|---------------------------------|-----------------|-----|--------------------------------------|
| 所属部課 | 課長 | 担当職氏名 | 連絡先 | TEL 0837-23-1264 FAX 0837-22-3564 |
| 教育委員会 生涯学習スポーツ 振興課 | 平川慎太郎 | 文化財保護室長 緒方栄作 | | |
| 件名 | 長門市指定文化財に「木造薬師如来坐像」と「瀬戸崎組鯨唄」が指定 | | | |

長門市教育委員会2月定例会において、下記のとおり新しい市文化財の指定が議決されましたのでお知らせします。

記

1. 定例会日時 平成27年2月24日(火) 13:30から
2. 定例会会場 長門市教育委員会別館
3. 指定文化財

| | 種別 | 名称 | 所在地等 | 所有者等 |
|------|---------------|----------|-----------------------|-----------|
| 第44号 | 有形文化財 (彫刻) | 木造薬師如来坐像 | 長門市仙崎3546番地 (青海区) | 宗教法人清福寺 |
| 第45号 | 無形民俗文化財 | 瀬戸崎組鯨唄 | 長門市仙崎1493番地1 (新町区) | 瀬戸崎組鯨唄保存会 |

※今回の指定で市の指定文化財は45件(詳細は別紙指定文化財の概要参照)

4. 留意事項 関係者への取材については、下記へ直接お願いします。

| 名称 | 所在地・連絡先 | 所有者等 |
|----------|--|----------------------|
| 木造薬師如来坐像 | 長門市仙崎3546番地(青海区) TEL0837-26-2051 | 宗教法人清福寺 代表役員 林 正文 |
| 瀬戸崎組鯨唄 | 長門市仙崎1493番地1(新町区) TEL0837-26-0503 携帯電話 090-9062-7959 | 瀬戸崎組鯨唄保存会 代表 坂本和磨 |

指定文化財の概要

■第 44 号

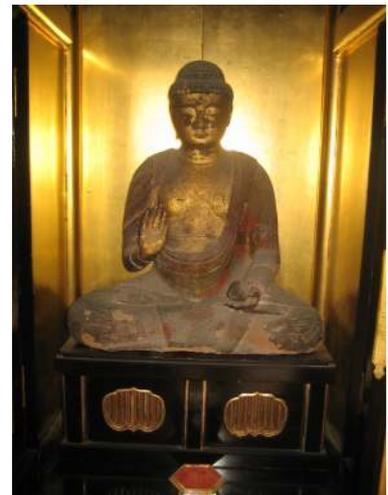
1. 種別 有形文化財（彫刻）
2. 名称及び員数 木造薬師如来坐像 一躯
3. 所在の場所 長門市仙崎青海 3546 番地 清福寺
4. 所有者の氏名又は名称及び住所 宗教法人 清福寺（代表役員 林 正文）
長門市仙崎青海 3546 番地
5. 形状、品質、構造、寸法、その他の特徴の概要

形状として、頭部は肉髻にくけいを盛り上げ、螺髪らほつは細粒で、後頭部の螺髪は省略されている。納衣は左肩を覆い、右肩に少しかかる。右手は掌を前にして、施無畏印せむい。左手は、肘を屈して膝上に置き、掌を上にして薬壺を持つ。品質、構造としては、榿材かやの一木造りで、内操うちぐりはない。上方頭部から、下方地付部まで一材でとり、それに左右の腕うで、結跏趺坐けっかふざの両足あしを矧はぎ付けている。彩色は体部は金泥、納衣には赤青などの塗料で彩色があるが、すべて経験の無い素人による後補である。眉、眼、螺髪らほつの墨も同様である。また、最初、光背、台座がついていたと思われるが、現在は全く残っていない。像高は 48.0cm である

6. 製作者 不明
7. 製作の年代 平安時代末期
8. 由来又は沿革

清福寺に伝来の天明 5 年（1781）に書かれた「南東山清福寺累代家譜」及び江戸時代に長州藩が編集した『防長寺社由来』『防長風土注進案』などによると、源平が京の都で両立していた頃、平家の人びとはこの薬師如来を尊崇していたので、家門はたいへん栄えた。平氏が源氏に追われ、京都を出たとき、この薬師如来も一緒に西下した。壇ノ浦の戦いにおいて源氏に敗れた平家方は、この青海に逃げて来て、多くの者が自害して果てたが、自害できなかった者や女子などは、この薬師如来を本尊とする寺をつくり、死んだ人びとを供養した。

その後しばらくは、寺は繁栄したが、時代が下って、毛利氏が領主となった頃、人びとの間には真宗信仰者が多くなった。そこで村人一同示談の上、真言宗寺院の寺を真宗寺院として再興することとし、藩に願い出て許可をうけ、元禄 3 年（1690）に真言宗の草堂を真宗に改宗し、本山から木仏免許を得て真宗寺院として正式に発足した。ここで清福寺の宗旨、本尊は変わったため、今までの薬師如来の本尊は別に安置することになり、宝永 8 年（1711）に薬師堂を新たに建て、薬師仏を安置した。現在は清福寺境内の西方の地に、新しく堂が建てられ、中に厨子も新しくして安置されている。



木造薬師如来坐像⇒

■第 45 号

1. 種別 無形民俗文化財
2. 名称 瀬戸崎組鯨唄
3. 文化財の伝承団体名、代表者及び所在 長門市仙崎新町 1493 番地 1
瀬戸崎組鯨唄保存会 代表 坂本 和磨
4. 瀬戸崎組鯨唄の歌詞
 - (一) 祝い目出度の若松様よ アーサイサイ 枝も栄える葉も繁る アラドコデモト
ツタリ
重ねづきゅする瀬戸崎組よ アーサイサイ 親も取りそへ子もそえて アラド
コデモトツタリ
是も御神の御利生かへ 御利生か アーサイサイ 竹になりたや お山の竹に
アラドコデモトツタリ
お組み栄えるしるし竹 アーサイサイ 今年や世がようて思ふこた叶うた ア
ラドコデモトツタリ
世がようて思ふこたうらやかに 末は鶴亀五葉の松 カヨカホイ
 - (二) 夢を見たわな目出度い夢を アーサイサイ 背美を枕に子持を前に アラド
コデモトツタリ
子持前に 大がちがよりかかる アーサイサイ 是も御神の御利生か アラドコ
デモトツタリ
明日は良いなぎ沖までや出まい アーサイサイ 磯の藻際で背美を取る アラド
コデモトツタリ
納屋の新ロクロに縄ばくりはへて アーサイサイ 子持まくのに ひまもない
アラドコデモトツタリ
網にあしたも朝がけしゃう ヨカホイ
 - (三) さても見事な瀬戸崎組よ アーサイサイ
背美の大ガチよりかかる よりかかる アラドコデモトツタリ
今年はよりかかる アーサイサイ 是も御神の御利生かへ アラドコデモトツ
タリ
竹になりたやお山の竹に アーサイサイ お組み栄へるのぼり竹 アラドコデモ
トツタリ
納屋の新ロクロに縄ばくりはへて アーサイサイ
大背美巻くのにゃ ひまもない アラドコデモトツタリ
網にあしたも朝がけしゃう ヨカホイ



仙崎小学校の児童と鯨唄を披露する保存会のメンバー

5. 瀬戸崎組鯨唄の楽譜

ひ わ い めで た の わか まつ
 さ ま よ ア サイ サイ え だ も さ か え る
 ほ も しゆ げる ア ラドコデモトツ タリ か さね
 づ さゆ す る せと さ き ぐ み よ ア サイ サイ
 お や も とり そ え こ も そ え
 て ア ラドコデモトツ タリ こ れ ゼ み か み の
 こ り しょう か へ ご り しょう か へ ア サイ サイ
 た け に な り た も お や ま の た
 け に ア ラドコデモトツ タリ お く に さ か へ る
 し る し た け ア サイ サイ こ と し
 よ が よ う て お も め こ た か の う た ア ラドコデモトツ タリ
 よ が よ う て お わ ゐ こ た う ら や か に
 す え は つ る か め こ よ う の ま つ ヨ カ ホ イ

6. 鯨唄の内容について

- (一)、(二)、(三)の歌詞とも節はほとんど同じであり、旋律にはレ、ミ、ソ、ラ、ドの5音が使われている。
- 唄の名称に組(瀬戸崎組)がでるのは珍しい。
- 瀬戸崎組鯨唄は一般に鯨唄一番唄と呼ばれたり、大唄と呼ばれたりする祝唄である。仙崎には解体する時に歌っていたような作業唄は残っていない。
- 唄の最後によい宝を得たという意味の「よかほい」が入る。これは、通も川尻も同じである。長崎県など九州の鯨唄とつながる。

7. 由来と鯨唄が歌われた文化・風土などの背景

瀬戸崎（現在の仙崎）に鯨組が組織されたのは寛文 12 年（1672 年）といわれ、鯨唄は江戸後期の「風土注進案」にも記録されている。鯨漁は地域の人々の団結を呼び起こし、経済を支えていた。その鯨組の人達の中で仕事唄として、大漁唄として歌い継がれてきたのが瀬戸崎組鯨唄である。仕事の様々な場面や漁に出る時などの節目の儀式他、様々な場で折に触れ歌われてきた。

瀬戸崎鯨組（白方浦・大日比浦も含む）は捕鯨によって生活を守るだけでなく、その収益の一部をあてて海の安全を護ってくれる祇園社の祭を支えるなど、地域の人々の文化や風土に大きな影響を与えてきた。

明治後期、鯨唄を後世にと有志が保存会を結成し、記録では昭和 4 年、広島放送局開局記念で鯨唄が披露されるなど昭和 30 年ごろまで活動されてきたが、その後活動が下火になり会も消滅してしまった。平成 11 年 3 月に仙崎の有志により会を復活し、仙崎小学校の児童への伝承活動や正月 2 日に八坂神社へ奉納するなど貴重な地域の民俗文化を引き継いでいる。